

加茂中学校区の取組

1 中学校区独自分野（人権教育）

(1) 加茂中学校区キャリア教育パネルディスカッション

ねらい

○キャリア教育で学んだことを中学生が小学生に伝えるとともに、小学生と一緒に、実際に仕事に携わる人の話を聞くことで、今、取り組んでいる学習や活動が将来の自分の生活や仕事にどう結びついていくのかを考える契機とする。

○夢や目標を持ち、仲間とともに、よりよい学校生活を送ろうとする意欲を高める。

日 時 平成28年12月8日（木）午後1時55分～3時40分

会 場 米子市立加茂中学校 体育館

内 容

オープニング

加茂中学校3年生による学年合唱「大地讃頌」

◆パネルディスカッション第1部

中学校の取組について

<パネラー>

○加茂中1年生2名

職業調べを通して学んだこと

- ・命を守る仕事（海上保安官）
- ・地域を支える仕事（花回廊職員）

○加茂中2年生2名

職場体験学習で学んだこと [保育園・幼稚園] [高齢者福祉施設]

<コーディネーター>加茂中学校3年生

◆パネルディスカッション第2部「先輩に学ぶ」

<パネラー>

加茂中3年生2名、看護師（加茂中卒業生）、スポーツインストラクター

（夢を叶えるために、自分を支えてくれたもの。日々の生活で大切にしなければならないことなど）

<パネラーの話の概要>

- ・「自分が一番練習や努力をしている」という自負があったから頑張れた。頑張れたからさらに自信につながった。自分にはできないとあきらめず前向きに頑張る人が真に強い人。（加茂中3年生）
- ・やりたい仕事があれば自分で創る。賞賛されることはなくても人を支える中で感じる仕事の喜びややりがいがある。あいさつや掃除などは、人として日々大切にすべきこと。（スポーツインストラクター）
- ・人の生死に関わる看護師の仕事の責任の重さとやりがい。自分で決めた進路なら苦しくても頑張れる。時には人に支えてもらうことも大切。（看護師）

※パネラーの話を受けて、フロアからの質問や意見を受けつけ、パネラーに答えてもらいながら、児童生徒が将来について考える場面を持った。

<児童・生徒の感想>

- ・自分にはいろいろな夢があり「こういう職業につきたい」と思っているが、簡単にはできないことがわかった。今は、勉強を頑張らないといけないので精一杯がんばりたい。一つ一つを大事にしたい。そして、これからある壁を乗り越えていきたい。（加茂中1年生）
- ・看護師さんは高校で看護の勉強をして、苦しくても、あきらめずに家族などに支えてもらいながらも、看護師の夢を叶えていて、すごいと思いました。私も看護師さんのようにつらくても自分の夢をあきらめないようにしたいです。（加茂小6年生）
- ・私はまだはっきりと自分のなりたい職業が決まっていません。これから自分にあった職業を少しずつ見つけていきたいと思っています。やりがいを見つかったり、人に喜んでもらえる職業につきたいと思っています。パネルディスカッションを見て、中学での職場体験は、とても楽しみになりました。（河崎小6年生）



(2) 加茂中学校区小中合同専門委員会リーダー研修会

ねらい

加茂中学校区の小学生と中学生が自分たちの手で、安心して安全な学校生活にしていくための方法を考え、実行していくために話し合う。

日時 平成28年12月19日(月) 午後4時～4時50分

会場 加茂中学校 新校舎2階 全体会…少人数2教室

保健委員会…第1理科室 環境委員会…第2理科室 生活委員会…パソコン教室

参加者 加茂中学校生徒会執行部の生徒6名

生活・環境・保健の各委員会より委員長・副委員長・1年と3年の代表計4名

加茂小学校児童8名、河崎小学校児童8名(各委員会に1～2名)

日程

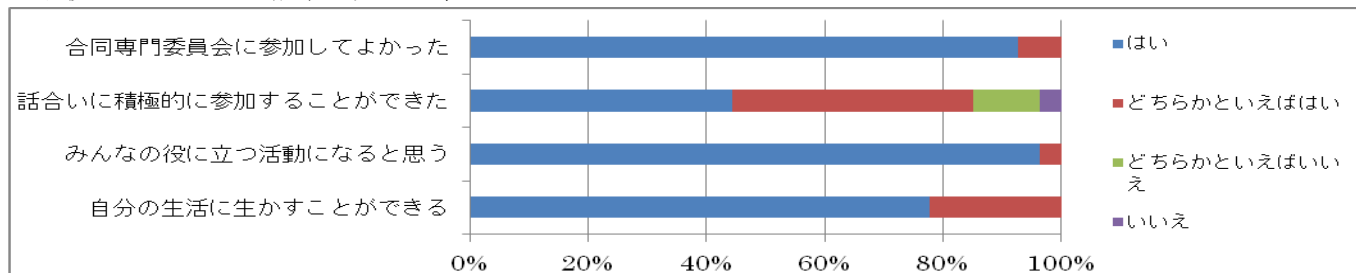
- 1 委員会ごとの話し合い
 - ・各学校の取組紹介
 - ・テーマにそった話し合い
- 2 全体会
 - ・委員会ごとに話し合った内容の発表



【話し合いのテーマ】

校区いっしょにそれぞれの学校で取り組めること～自分たちの学校を、自分たちの力で、「安心・安全で楽しい」学校にしていくために～

◆事後のアンケート結果と児童生徒の感想



(小学生の感想)

- ・河崎小学校でも生かせると思うものがたくさんありました。その中でもあいさつ運動を玄関ではなく、教室の中でやることは、次回の運動で取り組めたらいいと思います。話し合いに参加できたり、自分の意見が言えたりしたことがよかったです。
- ・各校での取組などを出し合って、その中の課題について話し合って新しくやってみたい活動がいくつも出てきました。その取組を学校に持ち帰って、新しくやってみたいです。
- ・小学校で取り組んでいないことがたくさん発表されたので、今日の話し合いをもとに決まったことを行って、安心・安全な学校にしていきたいです。中学生が一生懸命まとめてくれたおかげでよい話し合いができたので、良かったです。

(中学生の感想)

- ・想像よりも多くの意見を小学生が出してくれたことで、話し合いが活発になって良かった。今日、最終的に決まったことを各学校で実践していけたら、話し合いをして良かったと思うだろう。
- ・小中合同専門委員会をやったことで、中学生が気づかなかったことを小学生に教えてもらったり、逆に教えたりできた。中学生だけの専門委員会よりも楽しく、小学生と内容が共有でき、良い会になって良かった。

2 学力向上

☆本中学校区の学習面の課題である「基礎的な学力の定着」を目指して、以下の実践を行った。

6月30日(木) 【中学校区】中学校教員による出前授業
算数科・英語科

加茂小での授業風景

加茂小学校での中学校教員の授業
(平行四辺形の面積)

- ・小学6年生の図形の見方考え方や根拠となる図形の性質等に対する意識が向上した。
- ・小学校教員も多く授業を参観することで、図形指導のポイント等の共通理解が進んだ。



8月2日(火) 【中学校区】小中連携研修
講師：島根大学 岩宮恵子教授

8月3日(水) 【中学校区】中学校区学習指導部会

小中の教員で小学校「量と測定」領域(5年生)の指導の工夫改善を検討
小中合同の算数科授業研究(図形領域)

- ・小学校教員と中学校教員の双方の教材に対する理解が進み、図形領域の小中間の系統性についても理解が深まった。

8月19日(金) 【中学校区】小中連携研修 講師：吉田 順氏

講義「協同的な学びと学習規律の確立」について

- ・小学校の高学年から「思春期の自立」について、保護者も教員も意識を持ち、他者のいる場(授業等)で人に認められ、役に立つ経験を積み重ねることが必要であり、また、自己有用感を高め合える授業づくりを中学校区全体でチームとして取り組んでいくことが大切であると示唆された。

グループ協議「指導法工夫改善ー協同的な学びを生み出すために」

- ・中学校区の小学校中学校教員が混合でグループ協議を行った。
- ・「協同的な学び」を生み出すための指導法や手立て、社会科を例にした「授業力向上」また「学習規律の確立」の具体について、小学校・中学校それぞれの立場から意見交換を行うことができた。



12月1日(木)

【中学校区】中学校教員による出前授業
加茂小学校6年生対象 英語科
河崎小学校6年生対象 算数科

12月9日(金)

【中学校区】小中連携授業研究会
講師：静岡大学 熊倉啓之教授

授業公開

- ・加茂中学校3年数学科授業…加茂中学校全教員及び校区小学校教員が授業を参観。
- ・加茂小学校5年算数科授業…加茂小学校全教員及び校区小・中学校教員が授業を参観。

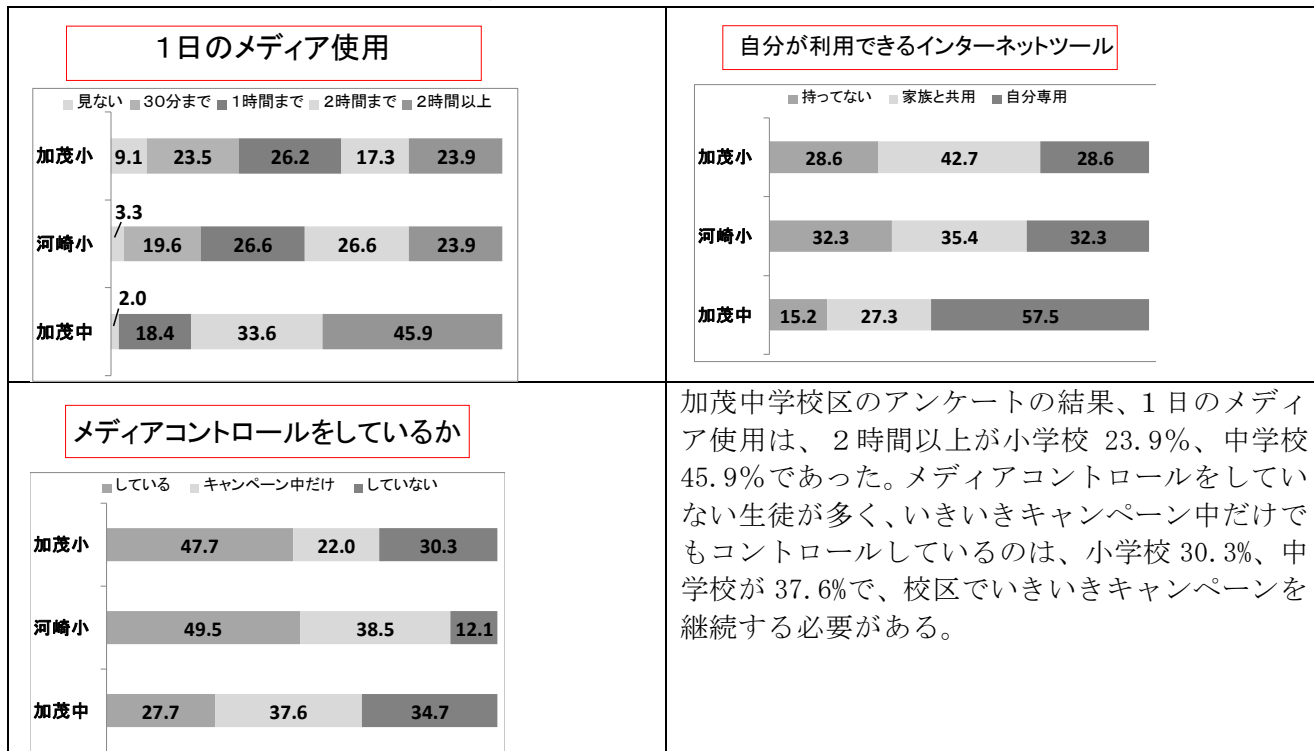
授業研究会

熊倉教授に各授業について指導・助言をいただき、小中連携による授業力の向上に向けての講義をいただいた。

- ・小学校段階での算数のつまづき部分を共有することができた。
- ・表現力の育成を目指すためには、「説明する活動」において、書くことを取り入れることが大切であるということが確認できた。

3 健康教育

(1) 健康生活アンケートの実施と分析



加茂中学校区のアンケートの結果、1日のメディア使用は、2時間以上が小学校 23.9%、中学校 45.9%であった。メディアコントロールをしていない生徒が多く、いきいきキャンペーン中だけでもコントロールしているのは、小学校 30.3%、中学校が 37.6%で、校区でいきいきキャンペーンを継続する必要がある。

(2) 拡大学校保健委員会の開催

時期 平成28年7月28日

参加者 ○保育園（河崎・加茂・あゆみ・キッズタウン上後藤）

○幼稚園（にしき）○学校医（内科・眼科・耳鼻科）

○学校歯科医 ○学校薬剤師

○学校（加茂小・河崎小・加茂中）

校長、教頭、保健体育主事、養護教諭、生徒指導担当、生徒会担当

○保護者（PTA会長・副会長、体育部長、事業部長、学年部長、執行部）

協議 1 加茂中学校生徒保健委員会の活動報告

2 加茂中学校校区アンケート結果報告

3 校区の取組の様子

講演 学校耳鼻科医 辻田哲朗先生



加茂中の課題を把握し、その課題を改善するため、「メディコン宣言」を考え、文化祭で発表しました。

< 拡大学校保健委員会の評価（参加者によるアンケート）より >

本日の拡大学校保健委員会の内容は、児童・生徒の生活実態に即したものでしたか。

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
27	10	1	0	0

加茂中学校区の子どもたちの健康改善、生活改善を行う上でどのような取り組みが必要か。

*メディアコントロールも含めて、学習と生活の適切なモデルを示していく。

*保幼小中と連携したいいきいきキャンペーンを実施していく。

*中学生の発表すばらしかった。中学生に見習って小学校でもがんばりたい。小学生にもそのまま伝えてほしいと感じた。

*主体的な取り組みを促し、児童生徒からコントロールへの意識が高まるようにする。

*保護者への意識付けの活動をしていくことが必要。

(3) 「心とからだいきいきキャンペーン」の実施

①校区の取組

保・幼・小・中学校に拡大学校保健委員会だよりを配布し、11月20日～28日の同時期に「心とからだいきいきキャンペーン」を実施した。

②加茂中学校生徒保健委員会の取組

文化祭で「加茂中睡眠改善計画」と題して睡眠の重要性を保健委員長、副委員長が全校生徒に対して睡眠の重要性を発表。期末テスト2週間前に保健委員だけが、実験的に「加茂中睡眠改善計画」いきいきキャンペーンを実施し、他の生徒に伝えたいことを考えた。

全校生徒に標語を募集し、標語は「Y（夜は）M（メディアを）K（消そう）～レム睡眠脳の情報 整理中～」に決定し、ポスターを校舎内に掲示した。期末テスト1週間前に、いきいきキャンペーンに対する生徒の意識を高めるために、自分が行った睡眠改善の実験結果を各クラスで伝えたり、保健委員会だよりを作成し配布したりした。そして、全校生徒は、毎日学校でキャンペーン用紙の記入を行った。生徒の睡眠に関する知識理解を知るために「睡眠クイズ」を、文化祭前とキャンペーン終了後に実施したところ、正答率が増加し、睡眠に関する知識理解が高まった。

加茂中睡眠改善計画

1. 体内時計を整える
朝、太陽の光をしっかりと浴びる
朝ごはんをしっかりと食べる
2. 夕方は寝ないで運動する
3. 寝る1時間前はメディアを消す
4. 休日も起床時刻が平日と1時間以上ずれないようにする

(4) 生徒保健委員会 小中学校交流会

ねらい

○生徒が中学校の保健委員会の取組を児童に直接伝え、委員会活動についての理解を深める。

○小学校と中学校の委員会活動で合同に取り組める活動について考えることができる。

○生徒保健委員の自己肯定感を高める。

日 時 12月22日（木） 午前8時40分～10時

会 場 河崎小学校 体育館

内 容 全校朝会での発表

*平成28年7月28日 拡大学校保健委員会で発表した内容を改訂

対 象 河崎小学校 全校児童

準 備 会場校準備物 プロジェクター、パソコン、スクリーン、マイク、感想用紙

参加者 3年男子生徒保健委員（河崎小出身）3名

※小学校教員を対象に今回の発表についてアンケートで尋ねたところ、肯定的な評価が多かった。

「加茂中学校保健委員会だより」より

12月22日、保健委員の3年生3名が委員会活動について河崎小学校で発表してきました。全校児童の前で「みなさんに取り組んでほしいことが二つあります。①歯磨きで歯肉炎を予防しよう！ ②ねる1時間前にはメディアを消そう！」と語りました。19日には、加茂小・河崎小の保健委員の人が中学校に来て、一緒にできることを話し合いました。小学校と中学校の交流が楽しみになってきました！！

